

立命館経済學

第 43 卷 第 3 号

1994年8月

川本和良教授退任記念論文集

内 容

川本和良教授退任記念論文集の刊行にさいして……………	奥 地 正	1
欧州における最近の M & A について……………	清 水 貞 俊	3
ベルリントゥルネン委員会の成立と 啓蒙的プロパガンダ……………	有 賀 郁 俊	18
——1850年代ベルリンの近代化とトゥルネン協会の実態——		
Reversing Benchmarking : Japanese Management in a Stalemate?……………	Enno Berndt	40
初期マルクスの地代論……………	岡 崎 栄 松	57
——『経済学・哲学草稿』を中心として——		
わが国における近代的労働市場に関する研究……………	三 好 正 巳	70
「国家シェア」概念に関する諸問題……………	坂 野 光 俊	100
現代イギリス地域政策の段階と特質(6)-1……………	若 林 洋 夫	118
核一軍産複合体は米国経済をどう変えたか……………	藤 岡 惇	146
日本における戦後の経済発展とマクロ経済政策……………	平 田 純 一	162
ドイツ三月革命をどう捉えるか……………	山 井 敏 章	187
——「ブルジョア革命」論をめぐる若干の考察——		
「三月革命」と官僚および軍隊……………	川 本 和 良	220
——三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と 社会政策および中間層政策の展開(13)——		
学問と原体験：川本和良先生を囲む座談会……………		287
川本和良教授略歴・主要著作目録……………		312

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第43巻・第1号

論 説

- 抗争的交換と可変資本節約の論理……………角 田 修 一
——ラディカル派エコノミストの労働過程=労働市場論——
- 日本の消費関数……………平 田 純 一
——1955年以降の暦年データによる分析——
- 環太平洋における経済成長と環境問題……………稲 田 義 久 子
——計量モデルによる分析——
五十嵐直子

学位論文審査報告

- 唐沢 敬「石油と世界経済」
姜 昌周「再生産構造と地代理論
——虚偽の社会的価値の研究——」

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第43巻・第2号

論 説

- 日本の金融システム……………小 野 進
——メイン・バンク制と企業との関係——
- FMSの生成と展開(Ⅱ)……………高 木 彰
- 日本の消費関数……………平 田 純 一
——1955年以降の四半期データを中心とした分析——
- アンケート調査にみる日本企業の海外直接
投資動向といくつかの特徴……………本 田 豊 郎
森 川 浩 一

研 究

- I-O表による中・日環境問題の分析……………李 潔
——化石燃料の消費による汚染物資の発生——
- 資本主義の発展と生活様式の変化……………森 脇 丈 子
——アグリエッタの「フォーディズム」概念を素材として——

書 評

- 三好正巳著『産業労働論序説
——生産システムと労働——』(法律文化社, 1993年)……………仲 村 政 文

発行所 立命館大学経済学会